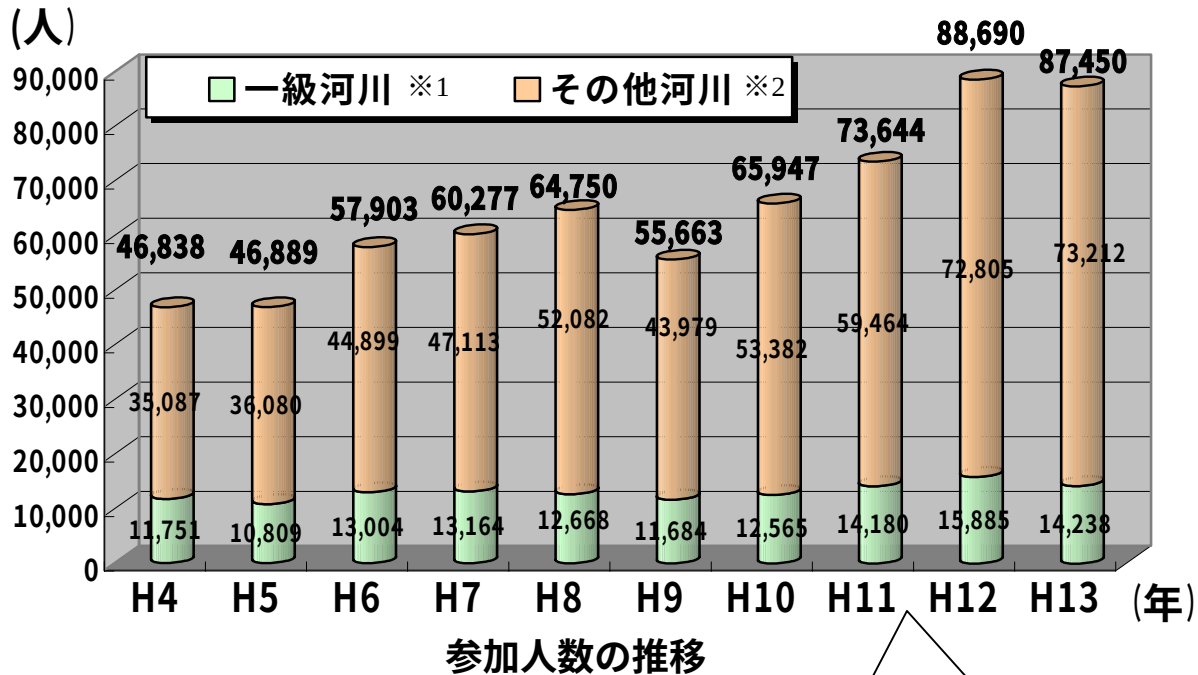


一般の方々による全国水生生物調査の調査結果について

国土交通省と環境省が調査方法を統一して参加を呼びかけ、参加者数は
87,450 人であった。

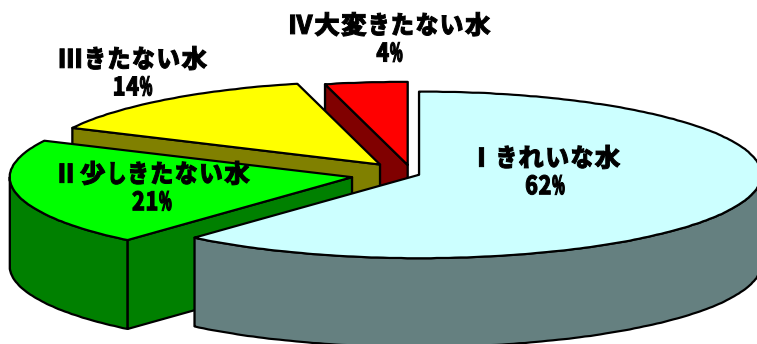


※ 1 一級河川大臣管理区間のこと

※ 2 一級河川都道府県知事管理区間及び二級河川等※ 1 以外の河川

国土交通省と環境省が調査方法を
統一して参加を呼びかけ

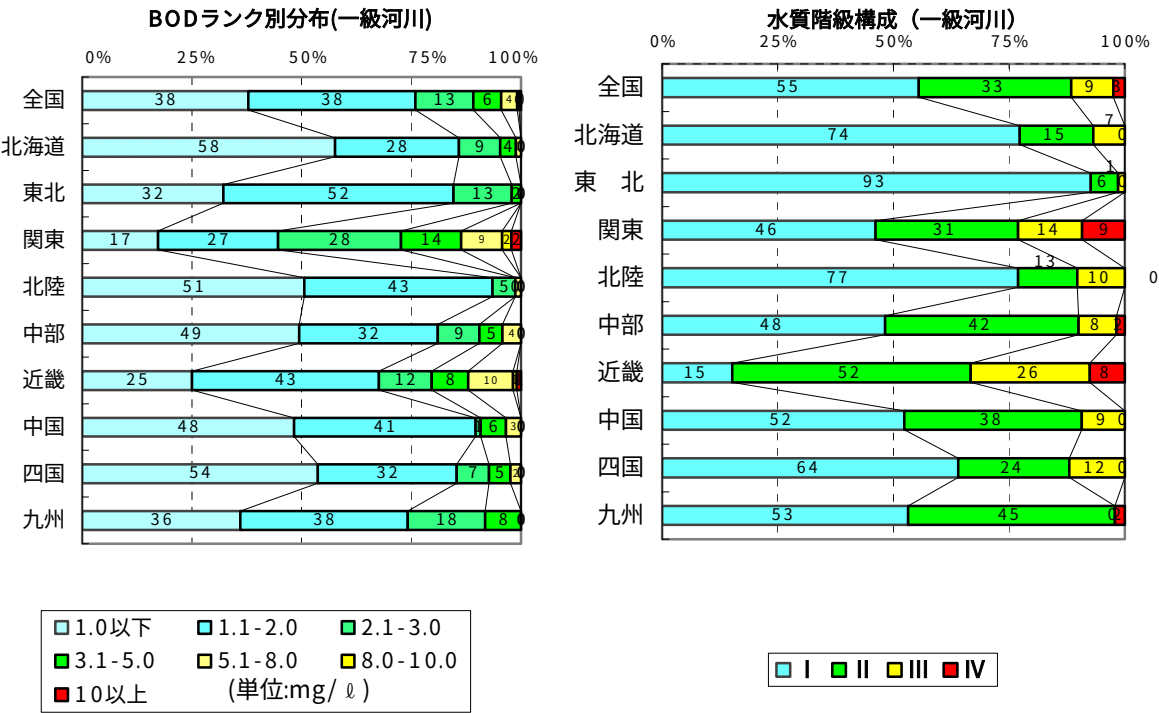
- ・水質階級の構成比は、概ねこれまでと同じ
- ・「**I きれいな水**」が全体に占める割合は **62%**



きれいな水 (I)		少しきたない水 (II)	
カワゲラ	ヘビトンボ	コガタシマトビケラ	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ	ブユ	オオシマトビケラ	スジエビ
ナガレトビケラ	アミカ	ヒラタドROMシ	ヤマトシジミ
ヤマトビケラ	サワガニ	ゲンジボタル	イシマキガイ
	ウズムシ		カワニナ
きたない水 (III)		大変きたない水 (IV)	
ミズカマキリ	ニホンドロソコエビ	セスジユスリカ	サカマキガイ
タイコウチ	タニシ	チョウバエ	エラミミズ
ミズムシ	ヒル	アメリカザリガニ	
イソコツブムシ			

・ BOD と生物指標の比較

BOD は測定時点における汚濁負荷の指標であり、生物指標は比較的長期間の水質の影響を見る指標として適しているとされている。両者を平成 13 年の全国調査で比較すると生物指標ⅠとⅡの境界は BOD で概ね 1～2mg/ℓ 程度となり生物指標ⅡとⅢの境界は BOD 指標では 3～5mg/ℓ となっており、現在の水質と生物の存在状況についても相関が見られる。



・ 福島、岩手等で昨年に引き続き多数の参加者

参加者数の多い都道府県 H12				参加者数の多い都道府県 H13			
順位	都道府県名	参加人数	うち一級河川 の参加人数	順位	都道府県名	参加人数	うち一級河川 の参加人数
1	福島	9,028	155	1	福島	9,258	174
2	岩手	7,544	425	2	岩手	7,265	514
3	岐阜	6,056	269	3	愛知	6,518	1,059
4	山形	6,031	297	4	静岡	5,350	575
5	愛知	5,761	1,306	5	岐阜	5,242	357

・ 過去 5 年間の調査による水質の傾向はやや改善

